
「Connected Car」社会におけるV2Xの展開

Connected Car社会の実現に向けた研究会(第2回)発表資料

2017年2月7日

沖電気工業株式会社



OKIグループ主要事業について

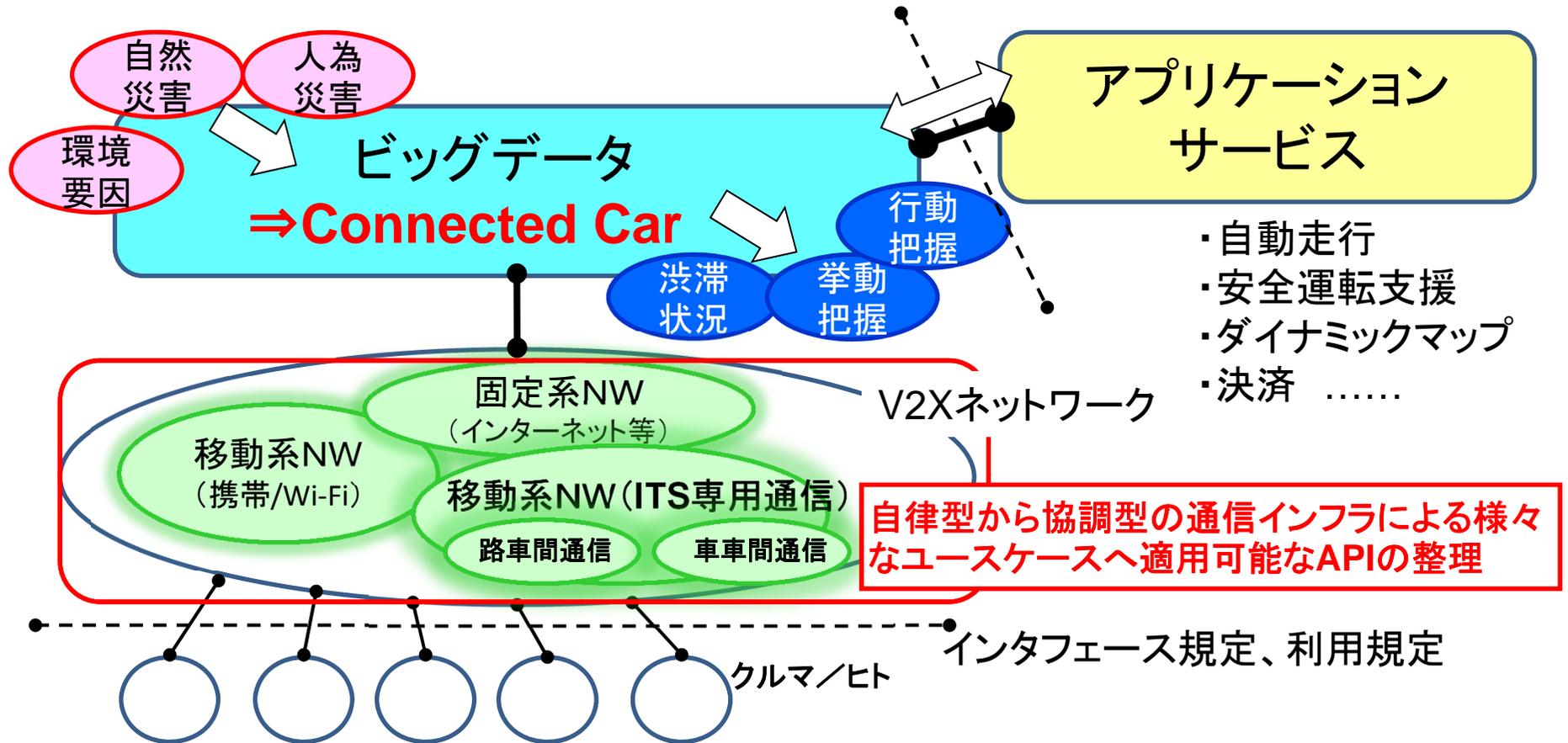
3つのコア技術(メカトロ／情報通信融合／省エネ)を活かした商品・サービスを
営業・技術・生産・保守一体となってお客様に提供



OKIの取組み –「Connected Car」社会の実現–

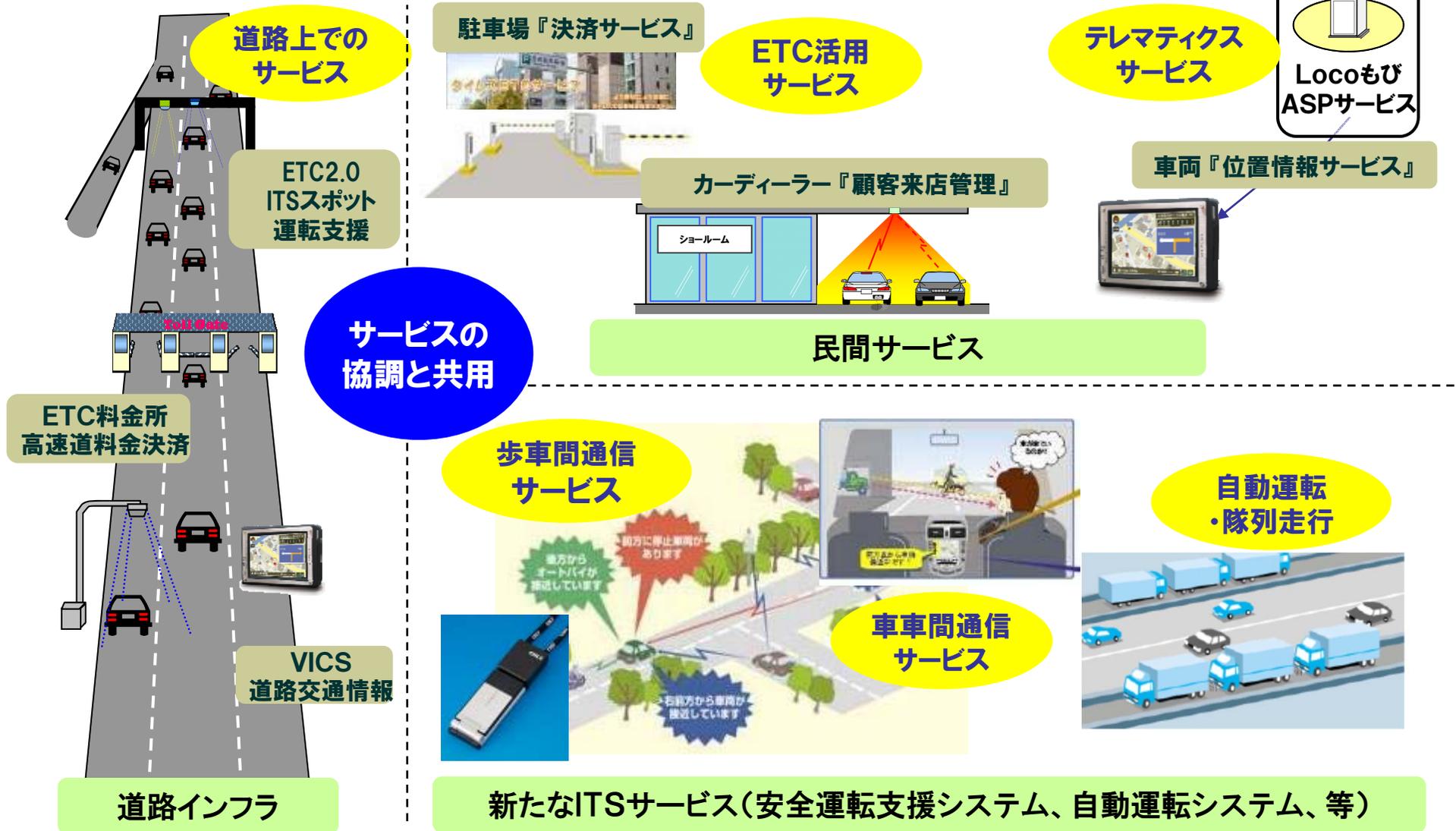
ICTを活用したITSの通信メディアの検討、具体化と効果的な利用方法の確立

- ・ ITSマルチプロトコル／各種周波数への対応技術によるユースケースの設定
- ・ ビッグデータ対応に向けた通信手段の融合によるセキュアなV2Xネットワーク
- ・ ビッグデータを活用するアプリケーションサービスと運用ルールの検討



OKIのV2X開発事例 - 社会インフラ機器への取組み -

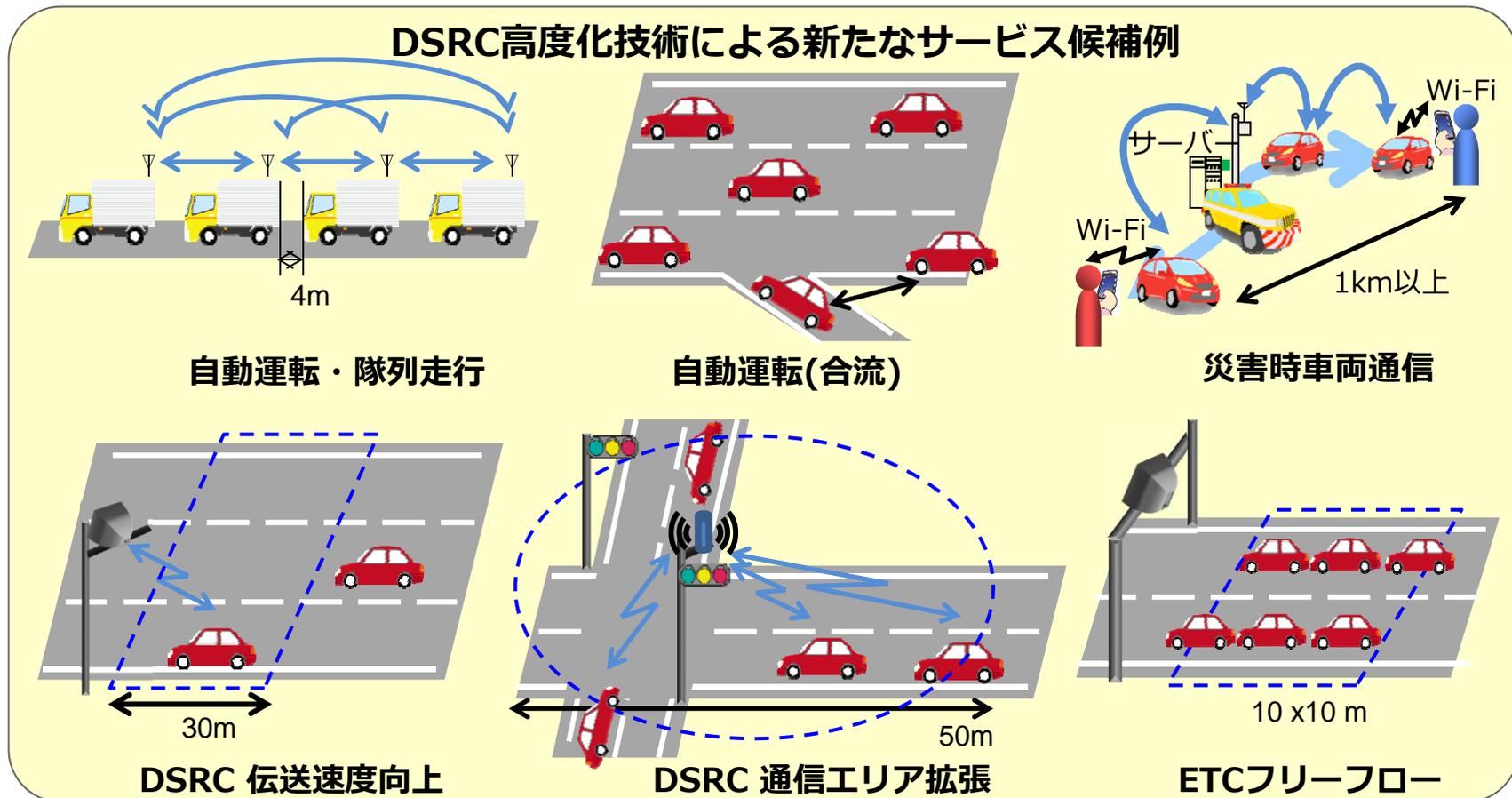
ITS専用通信によるV2I/V2Vの構築



V2Xの展開検討事例 –DSRC高度化–

(総務省) 狭域通信システム(DSRC)高度化技術に関する調査検討(H25~H27) 概要

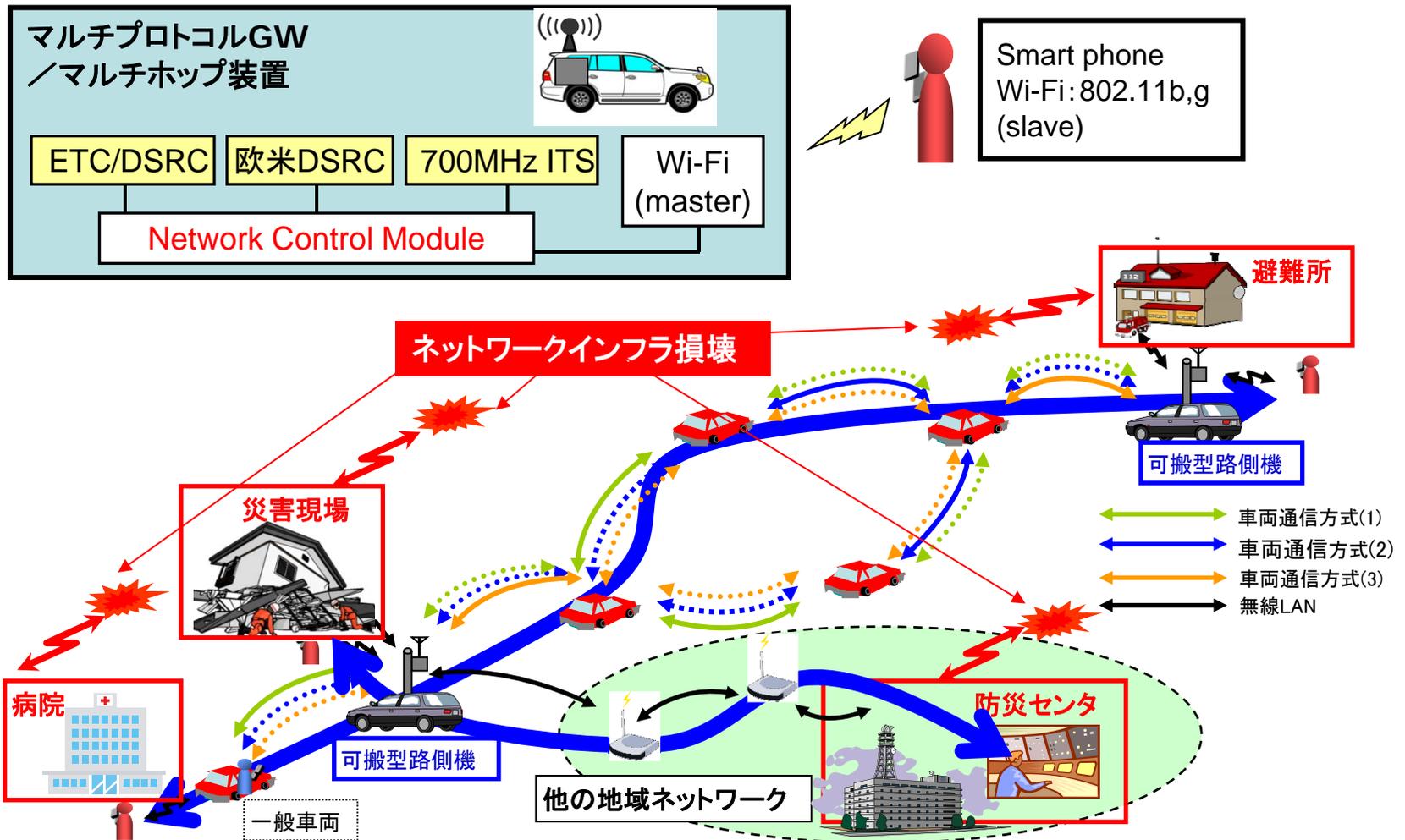
導入から10年以上が経過した狭域通信システム(DSRC)について、**国際的な協調を考慮**するとともに、**将来のサービス拡張性を確保**する観点から、既存のDSRC(5.8GHz帯)へ影響を与えずに**共用可能な新しい通信方式の導入に必要な技術を検討**し、路側機の設備更新時期等を考慮しつつ**実用化に向けて技術基準の策定を目指す**ことで、周波数の共同利用に資する。



V2Xの展開検討事例 - 災害時車両ネットワーク -

(総務省:平成23年度補正予算(第3号)による情報通信ネットワークの耐災害性強化のための研究開発)

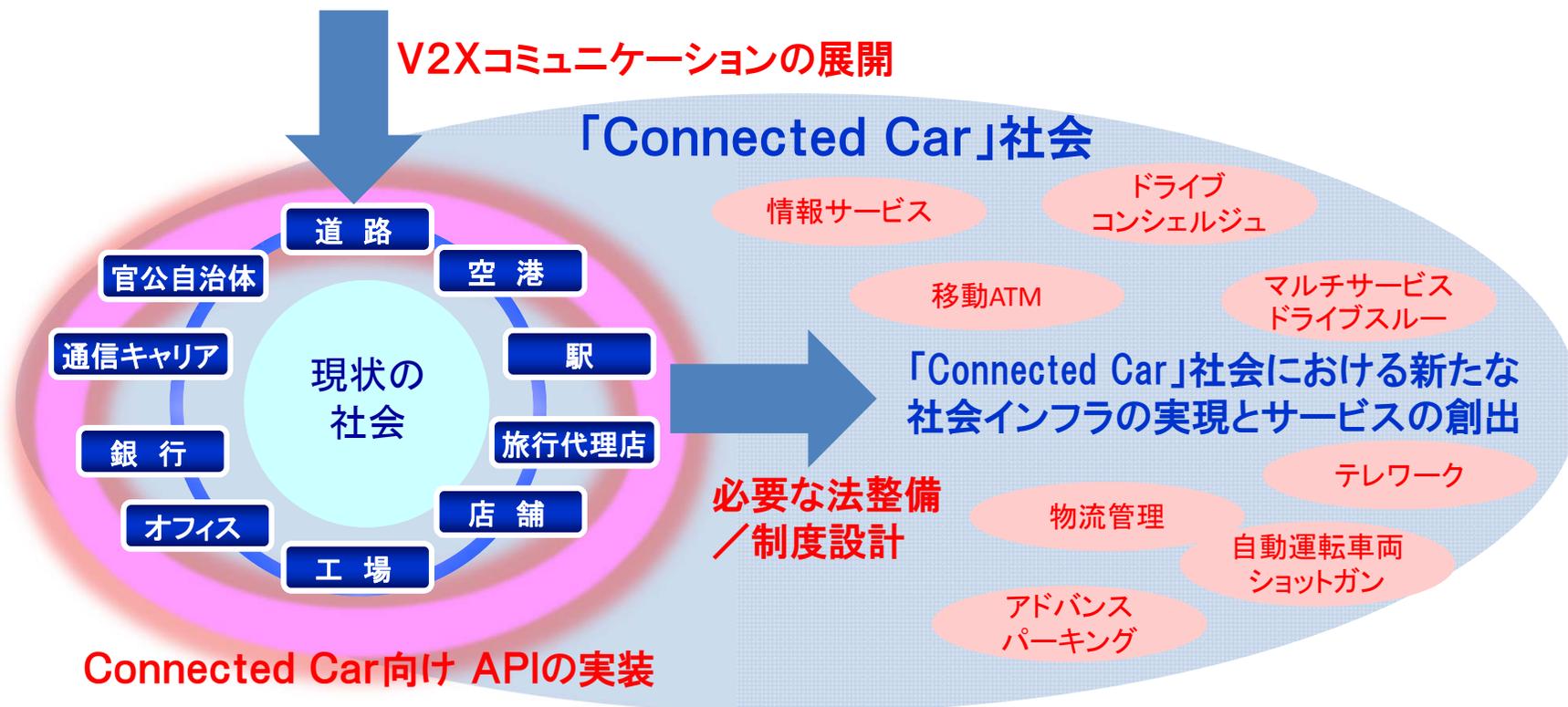
協調型ITSサービスに求められるマルチプロトコル/マルチホップネットワーク技術を開発
 ITS無線機器によるスマホ通信回線の緊急確保/車両の電源・機動性を有効活用



「Connected Car」社会の実現に向けて

V2Xに求められるネットワークインフラとしての機能

- ◆ 自営ネットワークと公衆ネットワークの共存／併用 : 各種サービス要件対応、災害時の考慮
- ◆ 公共サービスと民間サービスの棲み分けと協調 : プライバシー/セキュリティ確保、オープンデータ
- ◆ 各種情報アクセスのためのインタフェース構築 : 情報の再利用、高精度測位、ダイナミックマップ



「Connected Car」社会の実現に向け、様々な分野でのユースケースを運用含め具体化、V2XのAPI構築と普及にむけた法整備や制度設計が重要。



くらしのそばに、OKI。

ICTの活用により、社会インフラもますます高度化する時代。

ITS関連システムや消防・防災システム、ATM、

交通機関のチケット発券システムやチェックインシステム、

さらには世界をつなぐ通信、金融システムなど、さまざまな公共システムを、

OKIはICT技術とモノづくりで支えています。

世界の人々に安心をお届けすることを使命とし、

これからもより豊かなくらしの実現に貢献していきます。